



緑風だより



第93号
令和5年8月23日発行

発行 障害者支援施設 さがみ緑風園
〒252-0328 相模原市南区麻溝台2-4-18
TEL042-766-2255 発行者 弘末竜久
URL www.pref.kanagawa.jp/cnt/f488/



着任のご挨拶

副園長 古賀 信也



令和5年6月1日付けで副園長として転入しました。

県の職員になってから、これまで、税務を皮切りに、土木、農政、企画、商工、衛生、労働、教育など、様々な分野の仕事に携わってきました。

8年ほど前、高齢の両親の入院をきっかけに、利用者の「家族」という立場で、福祉や医療関係の皆さんのお世話になり、自分の無知を思い知るとともに、多くのことを考える機会を与えていただきました。

県の施設を取り巻く環境は、時代とともに変化していますが、利用者目線に立って、日々の支援業務にしっかり向き合うことが、何よりも大切と考えますので、これからは、施設の「職員」として、利用者やご家族のお役に立てるよう、尽力していきたいと考えています。

利用者も職員も、皆さんがいきいきと過ごせるような園をめざし、皆さんとともに取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



通過型施設としての当園の役割について 地域支援課 ケースワーカー 染谷 圭子

緑風だより過去数号に渡り、これからの神奈川県障害福祉の在り方について紹介がありましたが、皆様ご覧になりましたでしょうか。県立障害者支援施設は、障害のある当事者が望む生活へとステップアップするために準備・活用していただく場「通過型施設」へと転換が示され、それに伴い、当園でも入所基準や対象になる状態像の見直しを議論して参りました。

改められた入所の仕組みは、次のとおり当事者目線で進めていく方向で整いました。

- ・本人の希望する将来プランを確認し、体験入所を経て当園に入所
- ・入所中、関係機関と連携しながら本人が望む生活実現のための情報提供や体験を推進
- ・移行後のアフターフォロー体制の充実

アフターフォロー体制の充実についてですが、本人の希望する生活に向け一歩前に踏み出しやすくなるよう、また、移行後も安心して希望する生活を末長く送れるよう次のような点を中心に当園がバックアップを行います。

- ・移行先のスタッフに、書面や口頭だけの引き継ぎではなく、より具体的に手技のレクチャーを実施
- ・無理のない範囲で在宅生活を送れるよう当園の短期入所を活用
- ・(環境やサービス状況が変わり今の生活を継続することが困難となった場合)再び当園に戻って仕切り直し、もしくは別の方向へ調整

地域移行をして当園との関係が終結してしまうのではなく、引き続き当園は地域の一資源として本人の生活を支え続ける役割を担っていきます。

新規のご相談があった際、私は先ず「本人はどのような暮らしをしたいか確認されましたか?」とお聞きしています。そして、可能な限り本人が望む生活を諦めないよう使えるサービスを導入しながら周囲が支えて欲しいこと、その中で当園が役に立てるところがあれば協力したい旨をお伝えしています。



令和5年度 夏祭りを開催しました



今年の夏祭りは、「夏祭りウィーク」と称し平日5日間日中の時間帯に執り行われました。盆踊り、Eスポーツ大会、ゲーム等たくさんの催し物がありました。肝試しは、利用者さんだけでなく職員も「怖い、怖い」と大騒ぎ。カラオケ大会では、皆さんステージに上がり歌手になりきって歌っていました。残念ながら外部の方をお招きすることは叶いませんでしたが、大変盛況で楽しい5日間を終えることができました。



新採用・転入職員の歌と踊り



魚釣り



肝試し



射的

障害者グループホーム「ライム」に移られた笠井さんへインタビュー

【緑風園との違い】

- ・ライムでは働きに出ている人もいます。外出後の健康観察期間がないことが一番の違いです。
- ・家族と居室で気兼ねなく話すことができます。年末年始には大学生の息子が手伝いに来てくれたので、帰宅することができました。

【どのように生活していますか】

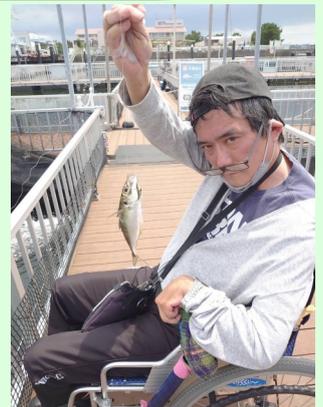
- ・毎日ヘルパーさんが移行の介助に来てくれます。
- ・週5回生活介護に通所し、そのうち2回入浴しています。

【楽しみ】

- ・毎晩、TVで巨人戦を見ながら缶酎ハイが飲めること。
- ・5月は江ノ島や横浜・八景島シーパラダイスに釣りに出かけて、1日海を眺めながらタバコとお酒を嗜みました。
- ・7月はドームの阪神戦を観戦してきました。

【緑風園の皆様へ一言】

退所の際にもらったメッセージが嬉しかったです。園を出た後もホーム長はじめ、元担当職員が気にかけてくれることを嬉しく思います。お世話になりました。



令和5年5月 横浜・八景島シーパラダイスにて

障害者支援施設「湘南希望の郷」に移られた中澤さんのお母様からのお便り

信頼とチャレンジで引越し

さがみ緑風園で9年近くを過ごした息子が湘南希望の郷へ引越し、1年が過ぎました。生活の場を変えることは親としても大きな不安がありました。私自身の加齢に依りいつまで考え、行動できるのかと思いつ断りました。目標に向け支えてくださった職員さんのサポートがあつてこそ踏み出せたのだと感謝しております。また、移ることを本人にどう伝えるか大切に思い、伝えたいことを短い文章にしカードに書き面会時に読んでもらいました。文章の最後を「不安なこともあるけれど、新しい生活にチャレンジしてみませんか、きっと大丈夫。としました。暫くして、「お願いします…」と。今思うとチャレンジは本人だけでなく家族も、寄り添ってくださった職員さんにも言えることだったのでしょう。また、希望の郷の職員さんにとっても、新しい仲間を理解し受け容れるというチャレンジをされているのだと思います。緑風園からのチャレンジと信頼のバトンが繋がり、理解者の輪が広がることを願っています。1年前、入居手続き後、職員さんとの別れの握手でこぼれた涙が哲也の感謝の想いと感じました。今、希望の郷の前には風が吹き渡る緑の田んぼが広がり、これからも季節の変化を楽しめることなのでしょう。緑風園の皆様、見守ってくださいありがとうございました。

中澤美子



令和5年7月
移先行職員と中澤さん

特別養護老人ホーム「すみれ園」に移られた五木田さんへインタビュー

【どのように生活していますか】

- ・女性の利用者さんと一緒にお茶を飲みながらTVを見たり、のんびり生活しています。
- ・髪をさっぱり切ってもらって、苦手な歯磨きも頑張っています。
- ・食形態が常食からソフト食になったことは残念ですが、いろいろ配慮してもらい安心して生活できています。
- ・前に緑風園で一緒だった利用者同士すみれ園で再会し、今も交流しています。



令和5年7月 緑風園職員と久しぶりの再会

【楽しみ】

- ・イベントが楽しいです。
- ・趣味だった写真はあまり撮らなくなりましたが、大好きなTV視聴に加え、後見人さんに買ってもらったPCゲームでオセロ、トランプ、麻雀等を楽しんでいます。

【緑風園の皆様へ一言】

- ・みんな元気？今度は緑風園に遊びにいて皆に会いたい。会いに来るときはあんぱん持ってきてね。

編集後記

インタビューで利用者の方がその方らしく活き活きと過ごしている様子を聞き、嬉しく思います。晩夏の折、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

6ホーム 遠藤

